



株式  
会社

鳥羽洋行

先端技術で社会と産業の進化を支える



第58期 報告書

2006年4月1日 >>> 2007年3月31日

株主の皆様へ

# 最新の商品、 技術及びサービスの提供

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は、格別のご高配を賜りありがたく厚くお礼申し上げます。  
ここに、当社第58期（平成18年4月1日から平成19年3月31日まで）  
の報告書をお届けするにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。



取締役社長 三浦 直行

## 当期の概況

当事業年度（以下、「当期」という）における内外経済を顧みますと、世界経済の牽引役であります米国経済は、原油価格の高止まりの影響や、サブプライム住宅ローンの焦げつきが住宅需要を冷やし、景気を後退させるとの不安はありましたが、全体としては、好調な企業業績に支えられ、概ね順調に推移しておりました。また、欧州経済は内需拡大により好調に推移し、アジア経済も中国に端を発した世界連鎖株安の拡大が懸念される場面が第4四半期に入って見られましたが、結果としてアジア各国は順調な推移をしておりました。

一方、わが国経済におきましては、原油価格の高止まりと長期に及ぶゼロ金利政策に終止符が打たれたことにより、個人消費に及ぼす影響が懸念されましたが、好調な企業業績が設備投資を押し上げて、不安材料を払拭し、民需中心に景気の拡大が緩やかに続いております。

このような環境下、当社は更なる販売力の強化及び業務の効率化を進め、営業面におきましては、営業エリアを従来の3ブロック制から5ブロック制とし、きめ細かな販売力の強化を図ってまいりました。また、管理面におきましては、平成18年5月1日に施行された新会社法に対応するため、いち早く法令に基づく諸改革に取り組み、また平成20年4月より開始される「内部統制監査」に向けた準備を進めております。そして、従来から取り組んできた「利益構造改革運動」を一段と強化推進した結果、当期におきましては利益率の改革を

実現することができました。今後は更にその効果を拡大するため、当期より「業務統一基準運動」にも注力し、管理面及び営業面がバランスよく業績に反映することを目標に全社で取り組んで行くこととしております。

以上の結果、当期の売上高は前年同期比1.3%増の259億38百万円と増収になり、営業利益は前年同期比11.2%増の21億40百万円、経常利益は前年同期比11.0%増の22億37百万円となりました。なお当期純利益につきましては前事業年度に計上された固定資産売却益（3億45百万円）が無かったことなどにより、前年同期比8.5%減の11億98百万円となっております。

当社は、平成18年9月15日をもちまして、創業100周年を迎えることができました。これもひとえに株主の皆様をはじめ、取引先関係者各位の永年に渡るご支援ならびにご指導の賜物と感謝申し上げます。

つきましては、株主の皆様のご厚誼にお応えするため、当期の配当金につきましては、普通配当60円に特別配当20円を加えまして、1株当たり80円を、第58回定時株主総会で決議させていただきました。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

生産工場の構成には欠かせない

### 制御機器

当部門は、空気圧機器、真空機器、流体継ぎ手、圧力センサー、電子センサーなどで構成されており、主として実装機、デジタル機器、半導体製造装置、車載部品、自動車などの得意先へ販売しております。売上高は前年同期比4.6%減の119億27百万円となりました。

工場の自動化・コストダウンを実現

### FA機器

当部門は、ロボット、自動組立機、チップマウンター、レーザー加工機などで構成されており、主としてデジタル機器、車載部品、自動車、OA機器、基板実装などの得意先へ販売しております。ロボット機器全体の販売が伸びた結果、売上高は前年同期比5.1%増の99億円となり、好調を維持することができました。

なお、当期に新たに取り扱いを始めた二次元自動認識QRコードが、初年度であるにも関わらず健闘し、次の事業年度への業績の貢献が期待されます。

生産組立て作業に使用されている

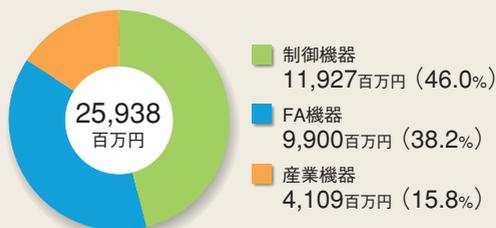
### 産業機器

当部門は、電気ドライバー、アルミフレーム、無人搬送車、コンベア、環境システムなどで構成されており、主としてデジタル機器、車載部品、自動車、食品などの得意先へ販売しております。半導体関連向けのアルミフレームや無人搬送車などの販売が好調であったため、売上高は前年同期比11.6%増の41億9百万円となりました。

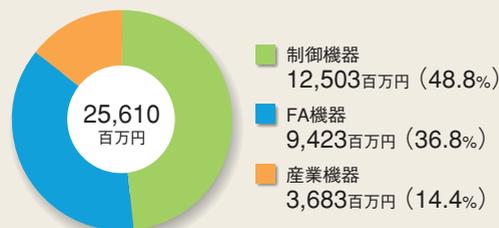
なお、当期は生産現場の空気清浄化機器や重量物揚重機器も職場環境改善への取り組みが拡大してきていることもあり、堅調な伸びを示しておりました。

## 売上高

平成19年3月期(当期)



平成18年3月期(前期)



# 鳥羽洋行の状況

当社は、空気圧機器、電子機器などの制御機器をはじめ、ロボット等のFA機器、産業機器を国内外の有力なユーザーへ販売する機械工具の専門商社です。そのため、業務範囲は幅広く、コンサルティングから分析、提案、製品納入、アフターサポートまで一貫して行い、産業のあらゆる場面に及んでいます。

## 鳥羽洋行の特徴と強み

当社の大きな特徴は、ユーザーに直接販売することです。当社が販売する製品は、空気圧機器や電子機器関連の制御機器をはじめ、各種産業用ロボット、物流搬送機器、電子部品実装機、半導体製造装置向けの各種部材と幅広く、ユーザーの生産設備計画などを初期段階から把握し、生きた情報を仕入先のメーカーにフィードバックすることで、様々なユーザーニーズに添えております。

また、当社の営業社員の約3分の2が空気圧技能士（国家資格）1級、2級のほか幾多の専門資格保有者で

あります。これらの専門知識を活かしてユーザーのニーズにお応えする提案型営業は、ユーザーから高く評価され、信頼されております。

こうした、販売方針や営業体制は、豊富な経験とノウハウに基づいて形づくられたもので、当社の大きな強みであります。

平成19年2月には本社及び全ての営業所が環境国際規格ISO14001の認証取得をし、地球環境にやさしい取り組みと営業活動を行っております。

## 対処すべき課題及び方針

当社が対処すべき当面の課題といたしまして、ひとつは平成20年4月から本格的にスタートする「内部統制監査への対応」であります。次に、「第5次管理システム確立」に向けての準備体制であり、3番目として「社員教育」「人材の確保」等であります。いず

れも当社のステークホルダーとの関係上欠くことのできない課題であります。

これらの課題に対し、内部統制監査への対応に関しましては、既に社内プロジェクトを立ち上げ対応を始めておりますが、人材育成のための「社員教育」「人

### ▼制御機器



5ポートソレノイドバルブ  
SMC株式会社



ガイド付ジグマシリンダー  
株式会社コグネイ



ロータリーダンパー  
不二ラテックス株式会社

### ▼FA機器



マウンター  
ヤマハ発動機株式会社



垂直多関節ロボット  
株式会社デンソーウェーブ

材の確保」等の課題に対しましては中長期的な視点で捉え、プログラムを組んで対応して行く計画であります。また、内部統制監査への対応とも共通しますが、法令順守のためコンプライアンス教育の継続的な推進や、適正な株価形成に役立つよう、各種の機会を設け

て会社の経営状況を分かりやすく説明するIR活動にも一層注力してまいります。

これらの課題を継続的に確実にクリアすることによって、経営基盤を一層安定させ、皆様の期待にお応えできるよう高利益創出型企業を目指してまいります。

## IRへの取り組み

平成18年8月、大阪「毎日新聞オーバルホール」においてJASDAQ主催の「IRセミナー」に参加いたしました。

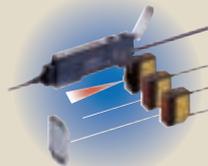
今後とも、各種の機会を捉えて、IRを実施し、より多くの投資家様に当社の内容をご理解いただくよう努力してまいります。



## ▼産業機器



レーザーマーカ  
ミヤチテクノス(株)



レーザーセンサ  
SUNX(株)



電動ドライバー  
(株)ハイオス



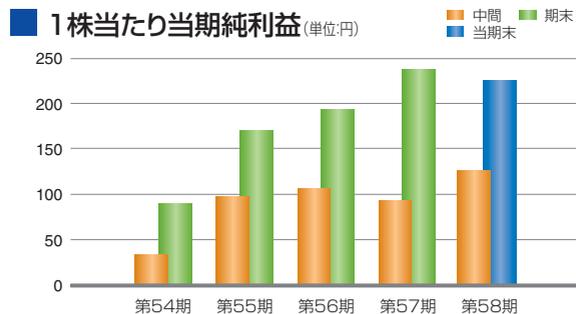
コンベア  
三機工業(株)



無人搬送車  
(株)タクマ精工

# 財務ハイライト

## ACHIEVEMENT HIGHLIGHT



# 財務諸表

FINANCIAL DATA

貸借対照表 <span style="float: right;">(単位:千円)</span>					
科目	当期 (平成19年3月31日現在)	前期 (平成18年3月31日現在)	科目	当期 (平成19年3月31日現在)	前期 (平成18年3月31日現在)
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>16,178,185</b>	<b>17,437,456</b>	<b>流動負債</b>	<b>6,751,933</b>	<b>7,224,811</b>
現金及び預金	6,486,793	7,094,887	支払手形	1,973,737	2,792,462
受取手形	1,859,937	2,456,368	買掛金	3,840,910	3,634,211
売掛金	7,531,627	7,607,433	一年内償還予定の社債	80,000	80,000
商品	84,081	85,230	未払法人税等	537,255	453,028
繰延税金資産	118,455	102,389	賞与引当金	170,000	150,000
その他	98,256	92,707	その他	150,028	115,108
貸倒引当金	△967	△1,560	<b>固定負債</b>	<b>592,435</b>	<b>703,238</b>
<b>固定資産</b>	<b>4,047,129</b>	<b>2,680,410</b>	社債	200,000	280,000
<b>有形固定資産</b>	<b>2,230,831</b>	<b>1,815,303</b>	繰延税金負債	166,105	186,750
建物	808,740	198,669	退職給付引当金	173,579	183,387
土地	1,399,385	1,399,385	役員退職引当金	52,750	53,100
建設仮勘定	—	213,251	<b>負債合計</b>	<b>7,344,369</b>	<b>7,928,049</b>
その他	22,706	3,997	<b>資本の部</b>		
<b>無形固定資産</b>	<b>12,805</b>	<b>12,370</b>	資本金	—	1,148,000
<b>投資その他の資産</b>	<b>1,803,492</b>	<b>852,737</b>	資本剰余金	—	1,261,059
投資有価証券	554,634	602,104	資本準備金	—	1,091,862
その他	1,249,683	252,055	その他資本剰余金	—	169,197
貸倒引当金	△826	△1,422	利益剰余金	—	9,550,031
<b>資産合計</b>	<b>20,225,315</b>	<b>20,117,867</b>	利益準備金	—	287,000
			任意積立金	—	7,136,511
			当期末処分利益	—	2,126,519
			その他有価証券評価差額金	—	230,726
			<b>資本合計</b>	<b>—</b>	<b>12,189,818</b>
			<b>負債及び資本合計</b>	<b>—</b>	<b>20,117,867</b>
			<b>純資産の部</b>		
			株主資本	12,683,709	—
			資本金	1,148,000	—
			資本剰余金	1,261,059	—
			利益剰余金	10,274,649	—
			評価・換算差額等	197,236	—
			その他有価証券評価差額金	197,236	—
			<b>純資産合計</b>	<b>12,880,946</b>	<b>—</b>
			<b>負債及び純資産合計</b>	<b>20,225,315</b>	<b>—</b>

# 財務諸表

FINANCIAL DATA

損益計算書		(単位:千円)
科目	当 期 (平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)	前 期 (平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで)
売上高	25,938,144	25,610,775
売上原価	21,647,415	21,656,434
売上総利益	4,290,728	3,954,341
販売費及び一般管理費	2,149,787	2,028,218
営業利益	2,140,941	1,926,123
営業外収益	106,289	114,456
営業外費用	9,626	24,849
経常利益	2,237,604	2,015,729
特別利益	662	357,019
特別損失	119,784	136,557
税引前当期純利益	2,118,483	2,236,192
法人税、住民税及び事業税	933,600	814,100
法人税等調整額	△13,734	112,104
当期純利益	1,198,618	1,309,987
前期繰越利益	—	816,532
当期末処分利益	—	2,126,519

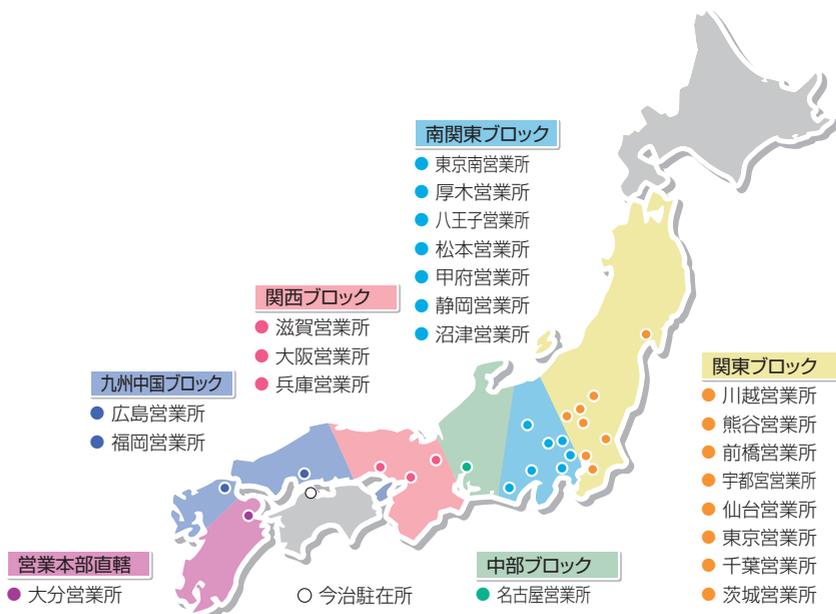
### 会社概要

社名	株式会社 鳥羽洋行 (英文表記 TOBA,INC.)
本社	東京都文京区水道2丁目8番6号
設立	昭和24年12月14日 (創業：明治39年9月15日)
資本金	11億4,800万円
事業内容	制御機器、産業用ロボット、計測計装機器、コンピューター、電子機器、搬送機器、建設・管工機器、ファスナー、環境整備機器、機械工具、工作機械、理化学機器、化学工業薬品類、上記に関する生産設備効率化のためのコンサルタント 機械器具設置工事業及びガラス工事業 不動産の賃貸
従業員数	198名 (男性：149名 女性：49名)

### 役員

代表取締役社長	三浦直行
常務取締役	藤原茂夫
取締役	鶴川健
取締役	遠藤稔
取締役	鳥羽重良
取締役	松永健一
取締役	尾関真一郎
常勤監査役	尾日向宏
監査役	上田正
監査役	池田圭介
監査役	金森浩之

### 営業ネットワーク



(注) 1. 平成19年4月1日から、一部ブロックの名称変更を行い、従来の「関東ブロック」を「北関東ブロック」と称し、「南関東ブロック」を「関東ブロック」に変更しております。  
2. 一部ブロックエリアの変更を行い、東京営業所、千葉営業所及び茨城営業所は新しい関東ブロックに、松本営業所、静岡営業所及び沼津営業所は中部ブロックに、従来九州中国ブロックであった広島営業所、福岡営業所及び営業本部直轄であった大分営業所は関西ブロックにそれぞれ配置されております。

### 株式数及び株主数

発行可能株式総数	20,000,000株
発行済株式の総数	5,300,000株
株主数	2,906名

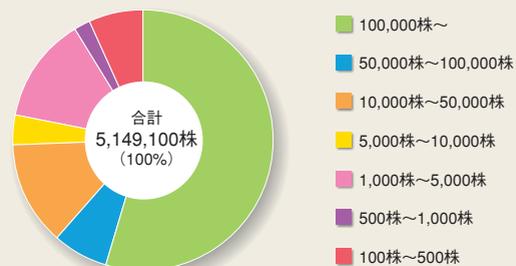
### 株主様優待制度



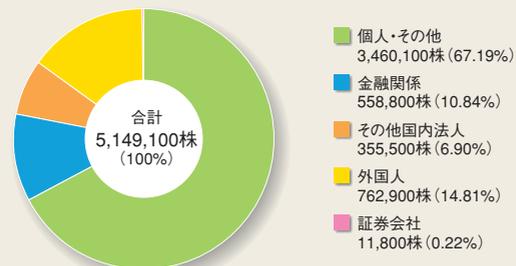
<b>1,000株以上</b>	長野・安曇野産の新米3,000円相当を贈呈
<b>100株以上 1,000株未満</b>	図書券1,000円相当を贈呈

上記基準により、当社では3月期末現在の株主様に対し、株主優待（10月中旬ごろを予定）を行っております。

### 所有者別株式数 分布状況



### 所有者別株主 分布状況

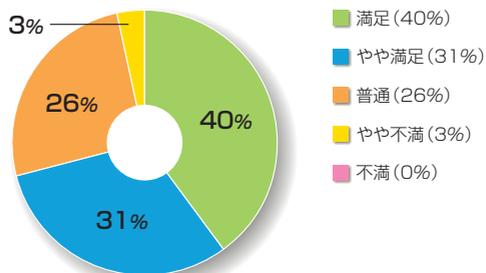


# アンケートのご報告

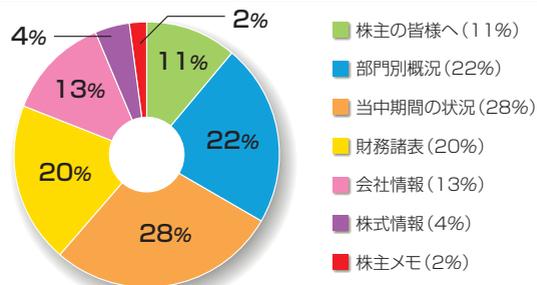
## QUESTIONNAIRE REPORT

前回中間報告書において株主の皆様へのアンケートを実施させていただきましたが、その集計結果をご報告させていただきます。集計数は155通（有効回答数153通）となりました。皆様のご協力に対しまして、厚く御礼申し上げます。

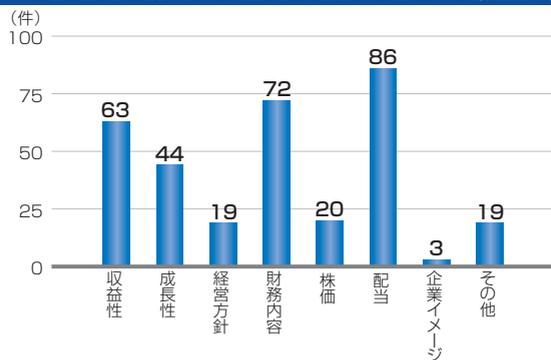
### 1. 中間報告書について、ご感想をお聞かせ下さい。



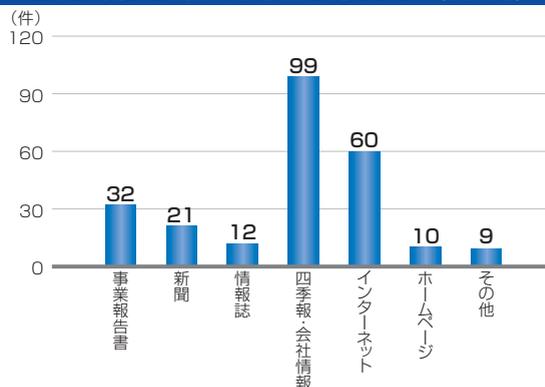
### 2. 当社の事業内容をご理解いただく上で、最も参考になった記事は何ですか？（複数回答あり）



### 3. 当社株式を購入した、理由をお聞かせ下さい。（複数可）



### 4. 当社に関する情報入手手段は何ですか？（複数可）



### 5. 当社へのご意見・ご感想

- ・しっかり目標に向かって、企業価値を高めてください。
  - ・中間配当をしないことを、中間報告書に明記すべきだ。
  - ・業績の更なる向上を期待しています。
- などのご意見をいただきました。お寄せいただいたご意見をもとに、更なる情報発信の充実に努めてまいります。

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
配当金受領 株主確定日	3月31日 中間配当を行う場合は、9月30日
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社 本店
同事務取扱所	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)
同取次所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店および全国各支店
単元未満株式の買取	上記株主名簿管理人にて取扱います。
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。ただし、やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。

### 株式に関するお手続き用紙のご請求について

住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求および配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は、下記株主名簿管理人中央三井信託銀行のフリーダイヤルまたはホームページをご利用ください。

- フリーダイヤル 0120-87-2031(24時間受付:自動音声案内)
- ホームページ [http://www.chuomitsui.co.jp/person/p\\_06.html](http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html)

株式  
会社 **鳥羽洋行**

〒112-0005東京都文京区水道2丁目8番6号 ☎(03)3944-4031  
<http://www.toba.co.jp/>

**R100**

古紙配合率100%再生紙を使用しています。